

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2000-048516
起案日 平成16年 1月 7日
特許庁審査官 長馬 望 9236 3H00
特許出願人代理人 吉田 研二(外 1名) 様
適用条文 第29条第2項

<<<< 最 後 >>>>

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1, 3, 5, 6, 9, 10
- ・引用文献等1
- ・備考

引用文献1には、所定時間の範囲内に限って電動機の連続定格値を超える駆動特性が設定された回転数－トルクパターンが選択され、アクセルセンサからの出力に基づき、上記回転数－トルクパターンの範囲内の動力が出力される車載用の動力出力装置が記載されている。

そして、この回転数－トルクパターンをどのような特性とするかは、電動機等の特性に基づいて当業者が適宜定める事項である。

- ・請求項2, 4
- ・引用文献等1, 2
- ・備考

引用文献2には、電動機と内燃機関からの出力により駆動される動力出力装置が記載されており、これらの駆動制御を行うときにエネルギー効率が高くなるよう

期限簿記帳済
庁 期 限 3 月 15 日
弊ケースNo. TY-4492

にすることは当業者が容易に想到し得た事項である。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. 特開平7-322401号公報
2. 特開平11-324751号公報

最後の拒絶理由通知とする理由

1. 最初の拒絶理由通知に対する応答時の補正によって通知することが必要になった拒絶の理由のみを通知する拒絶理由通知である。

この拒絶理由通知について問い合わせがあるときや面接等を希望されるときには、特許庁特許審査第二部自動制御・長馬（ながま、電話03-3581-1101 内線3316）までご連絡ください。